

2023 年度日本海洋学会第 4 回幹事会議事録

日時: 2023 年 11 月 24 日 (金) 13:30~17:00

場所: Zoom を利用したオンライン開催

出席者: 江淵会長、原田副会長、伊藤、岩本、岡(顕)、岡(英)、久保川、齊藤、土井、中野、野口、長谷川、安中、事務局(毎日学術フォーラム: 米岡)

議題

1. 議事録確認(中野幹事)

2023 年度の第 3 回幹事会、秋季評議員会、臨時総会の議事録(案)が確認され、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について(岡(顕)幹事)

2023 年 8 月から 2023 年 9 月の入会者(17 名)と退会者(3 名)が承認された。2023 年 9 月末時点の会員数は 1,445 名。

(2) シンポジウムの後援・協賛等について(岡(顕)幹事)

後援・協賛等について 6 件の依頼があり、承認された。

(3) 募集・推薦等の依頼(岡(顕)幹事)

公募・推薦 6 件、シンポジウム・講演等について 4 件の依頼があり、メーリングリスト配信等の対応がなされたことが報告された。

(4) 会費未納者について(岡(顕)幹事)

会費未納者(1~3 年)について確認し、例年効果がある会費の納付についての声かけを行うこととした。

(5) JpGU2024 共催希望について(安中幹事)

26 件の共催依頼があった。海洋学会員がコンビナーとして加わっていないセッションについては、今回は共催を承認するが、今後は海洋学会員がコンビナーに入る必要があることをあらかじめ伝える方針となった。

(6) 受賞記念講演の動画配信について(土井幹事)

著作権等に留意しつつ、YouTube の海洋学会チャンネルに受賞記念講演をアップロードすることとなった。今後の録画は義務化せず、有志が行うとした。

(7) IAPSO 対応委員会設置について(江淵会長)

日本海洋学会に IAPSO 対応委員会の設置をすることが承認された。発足時期については 2024 年 4 月 1 日を予定している。

(8) JO Special Section の提案について(齊藤編集委員長)

現時点の提案では JO 編集委員が Guest Editor に入っていないため、編集委員会から一名を加える修正を行った後に、承認されることとなった。

(9) その他:

- ・ JO Most Cited Paper Award に関する提案について（齊藤編集委員長）
直近2年間で最も引用された論文について2,3件、JO編集員が表彰する方針であり、Springer nature から副賞も提案されていることが報告された。次回の幹事会に具体案を提示して決定することになった。
- ・ 次年度以降の若手支援について（原田副会長）
予算が逼迫する中でのより効果的な若手支援の在り方について議論がなされた。

3. 報告事項

- (1) 会長(江淵会長)
2024年度 JpGU の各賞について推薦予定者の報告があった。
- (2) 庶務(岡(顕)幹事)
2023年12月~2024年1月の幹事会のスケジュール、及び法人化に向けた理事の役割マニュアルの改訂について確認を行った。
- (3) 会計(野口幹事)
沿岸海洋研究会の会員及び会計の管理を海洋学会に一本化する予定であることが報告された。
- (4) 編集
 - ① JO(齊藤編集委員長)
JO(Vol.78(1) から Vol.79(6))の発行状況、投稿・受理状況の報告があった。
 - ② 海の研究(久保川編集委員長)
海の研究 Vol.32 5,6 合併号を12月に発行予定であること、及び現在の投稿状況が報告された。また、海の研究の印刷を行っていた(株)日本制作センターが11月7日に破産したため、学会事務局の協力の下、代替りの印刷会社を急遽選出中であることが報告された。
 - ③ JOS ニュースレター(岩本編集委員長)
2023年 vol.3 11月号が発行されたことが報告された。
- (5) 広報(長谷川幹事)
パンフレットを今年度中に更新する予定であることが報告された。
- (6) 教育問題研究会(川合幹事(文書報告))
秋季大会中開催に海洋科学コミュニケーション実験講座(COSIA)と海のサイエンスカフェを開催したこと、及び11月18-19日にサイエンスアゴラに出展参加したことが報告された。
- (7) 海洋生物学会(野口幹事)
今度の春季大会中にシンポジウムを開催予定であることが報告された。
- (8) 男女共同参画(野口幹事)
秋季大会にて Inclusion 海かふえ(第3回)を開催したこと、及び男女共同参画学協会連絡会第22期定時総会と運営委員会に参加予定であることが報告された。

(9) 防災(土井幹事)

10月4日の第1回 JpGU 環境災害対応委員会に参加し、JpGU2024にて環境防災のユニオンセッションを提案することが報告された。

(10) 若手支援(原田副会長)

10万円ずつ7人に渡航援助を行ったことが報告された。

(11) リクルート戦略ワーキンググループ

20件の問い合わせがあったこと、及びワーキンググループのFAQを修正する予定であることが報告された。

以上